

2016年11月7日

三田市長
森 哲 男 様

三田市議会：市民の会
(檜田充、美藤和広、佐々木智文)

平成29年度予算編成に関する申し入れ書

森哲男市長におかれましては、11万4千人市民の福祉向上と安全安心のまちづくりに向け、ご尽力されていますことに敬意を表します。

とりわけ、森市長が『子どもに夢を、高齢者に安心を、地域に元気を』の3つの方針のもと、プロジェクト5として掲げた5つの施策を中心に事業を展開するとともに、『地方創生』についても重要テーマと位置づけて取り組みを進め、「子育てするなら絶対三田」のキャッチフレーズを継続し積極的な世帯誘致を図っていただくとともに、今後の少子高齢化に対応する新たな施策展開に大きな展望を拓くことに期待しています。併せて市民の健康と命を守る市民病院についても、県との連携の中さらなる充実を目指した取組に着手され、市民に大きな安心感を与えることと期待しております。さらに、三田地域振興株式会社の健全化と、三田駅前Bブロック開発が進行する中、新たな課題として、三田駅前Cブロックや新三田駅・相野駅周辺の活性化や第二テクノパークの企業誘致により、三田市に活力と賑わいが湧き出ること何より喜ばしいこととあります。

さて、日本の社会は、個人消費の低迷とデフレ基調による経済低迷の中、東日本大震災からの復興に加え、毎年起こる集中豪雨等自然災害にも対応しなければなりません。全国的な少子化、『団塊の世代』の高齢化など、経済基盤が崩れつつある中、国の債務が1000兆円を超え、返済能力の限界が見えてきました。

こうした流れは、地方の税収にも大きな影響を与え、歳入の下方修正を余儀なくされています。国においても税収減の中、地方自治体にも負担が課せられる状況になっています。とはいえ、『地方分権』へと大転換がなされようとしている今、いかに、「市民の生活」に密着した「市政」を実現するのか、「市長」と「議会」にかかる責任は一層重くなると考えます。

私ども、市民の会では、「市民だれもが安全で安心な社会の実現」を心から願い、将来の社会基盤の根幹となる少子高齢化対策をはじめ、介護基盤の充実/障害者・高齢者の生きがい対策など健康福祉社会の実現、産業の活性化/雇用対策の充実、地域・学校の安全確保、新たな特色ある三田の教育の推進、三田の魅力を生かした情報発信等市政全般に亘る申し入れ項目を取りまとめました。

森市長には平成29年度当初の予算編成にあたり強力なリーダーシップを発揮され、「健全で安定した市政の継続」という市民の願いに応える対応を強く要望いたします。これら項目の反映に最大限ご努力を講じられますようここに申し入れをおこないます。

市民の会予算要望書

地域戦略室・経営管理部

番号	内容	提案年度	種別
1	全ての部課が一丸となり、森市長が掲げる「日本一住みたいまち三田」の実現を目指すこと。 ①内部統制の構築・強化を図ること ②情報資産のセキュリティ対策を強化すること ③行財政改革の推進により健全財政を維持すること	H27	強化
2	JR新三田以北の沿線利用者の利便性向上に向けて、通勤・通学時間帯の増便と共に、駅ターミナルの拡大・充実を図ること。	H24	強化
3	新三田、相野駅周辺の整備事業を早期に実現すること。併せて広野駅、三田駅北側周辺地区についても早期の対応を図ること。	H24	強化
4	近年各地で発生する大規模災害に備え、危機管理担当を中心に、住民の防災意識の高揚と共に、市民の安心安全確保に向けた情報管制と発信伝達などの諸施策に積極的に取り組むこと。	H23	強化
5	職員提案制度の充実を図ること。		継続
6	情報公開の徹底を図ること。		継続
7	研修制度の充実による職員のスキルアップとモラル向上を図ること。		継続
8	市所有施設の維持・管理について、統合管理計画に基づいて、適正な配置を進めると共に地域の願いを反映するよう努められたい。白書の見直しと充実を図ること。	H27	強化
9	各種団体への補助金・負担金については用途・効果をしっかり把握し、見直しを進めること。併せて、加入団体分担金・負担金についても必要性等を見極め、29年度予算では大幅な見直しを実現すること。	H23	強化
10	防犯カメラの設置を含め、地域防犯活動を積極的に支援すること。		継続
11	地域光回線整備支援は、情報化時代を鑑み、早期実現を図ること。	H28	新規
12	地域公共交通会議を活用し、住民ニーズにあった地域公共交通網の実現を促進すること。	H28	新規
13	高齢者の外出支援策を充実させること。	H23	強化

市民生活部

番号	内容	提案年度	種別
1	人権尊重のまちづくりについて、今までのとりくみをさらに強化し、人権研修・啓発の予算増額を図ること。	H23	継続
2	児童生徒支援加配教員の増員と研修の充実を図るとともに、解放学級について市民の理解が得られるよう努められたい。	H23	継続
3	本人通知制度について、周知の徹底をはかり、登録人数の拡充を図ること。	H26	継続
4	県や国の大会誘致可能な施設の整備と充実を図ること。	H25	強化
5	地域担当制を活かし、地域課題の集約と解決に努めること。	H24	継続
6	各市民センターの運用について、効率化を図ると共に、地域の願いを反映するよう努められたい。	H27	強化
7	クリーンセンターの施設更新に向けた基本方針策定の取り組みを進めること。	H28	新規
8	国際交流の推進と助成強化に努めること。		継続
9	原子力発電への依存軽減のため、バイオマスによる発電や燃料化を先進的に実現すること。	H24	継続
10	循環型社会実現のための環境マネジメントに対し、系統的に追求するとともに、市民に十分説明責任を果たし、市民が主体的に活動できる環境を整備すること。		継続
11	不法投棄対策の充実を図ること。		継続
12	退職後の「就労」「大人の居場所づくり」を積極的に創出すること。	H23	強化

健康福祉部

番号	内容	提案年度	種別
1	市民だれもが安心して子育てができるまちづくりを進めること。	H26	継続
2	乳幼児等子ども医療費助成制度には所得制限を導入しないこと。	H28	新規
3	介護保険制度の変更による不安を払拭し、市民だれもが安心して暮らせるまちづくりに努めること。	H26	強化
4	小児救急医療体制の充実と努めること。	H26	継続
5	社会福祉協議会の情報公開を進め、全ての市民の理解と自立に向けた取り組みを進めること。		強化
6	高齢者の自立支援として、「健康づくり」など支援策を充実させること。	H23	強化
7	青少年育成活動への助成を充実すること。		継続
8	障害を持つ人が安心して暮らせるよう、「就労」「外出」等障害者福祉の向上に努めること。		継続
9	障害者のコミュニケーション支援の充実を図ること。	H27	新規

地域振興部

番号	内容	提案年度	種別
1	北摂三田第二テクノパークへの企業誘致の促進等、市内における雇用創出と若者の就労定着を目指すこと。あわせて、市内中小企業対策も充実すること。	H26	継続
2	障害者雇用の実態を把握すると共に、障害者の能力・実態に合った雇用の確保、及び企業への法的雇用率達成を目指すよう指導・監督し、障害者が働きやすい環境をつくること。		継続
3	産業・労働政策推進の観点から、連合三田との定期的な懇談の場を設定すること。	H26	継続
4	三田・新三田駅前再開発においては、学生や若者、ファミリー等が余暇を楽しみ、幅広く交流を場として、アミューズメント施設等の設置など、人が集う活気あるまちづくりに向け検討すること。	H26	強化
5	JR駅周辺の狭隘道路については、緊急車両の進入に対応できるよう拡幅を図ること。	H27	強化
6	農業振興を図り、安心安全・良質な農産物を生産し、地産地消を推進すること。		継続
7	三田牛等全国に誇る特産品の発掘とブランド化により振興、流通に努めること。		継続
8	関係団体と連携し三田名物、土産物開発支援による商業の活性化と観光振興を図ること。		継続
9	三田の歴史、自然、農業、ニュータウン、ゴルフ場など三田の魅力を生かしたまちづくりによって観光客や住民を誘致し、三田市の活性化に努めること。	H23	継続
10	観光資源を活かした物産販売・駐車場環境を整えること。	H28	新規
11	年々増加する有害鳥獣の根本的防止策を検討し、猟師の育成強化を含め対処すること。		強化
12	土地利用について、市街化調整区域の線引きの見直し等最大限の努力をされたい。	H26	継続
13	相野駅周辺の整備については、長年の住民の悲願であり、早期の完成に向け、県・国への要望を強化するとともに、地元対策についても十分な対応をすること。	H26	継続
14	市民の健康づくりの施設や競技用施設の整備・維持を効率的に行うこと。また、体育館の冷暖房設備設置を図るとともに、熱中症などの安全対策を徹底すること。	H24	継続
15	空き地空き家対策をまちづくりの課題として、住替え機構を用いた対応策の積極的な推進を図ること。	H24	継続
16	街区公園の管理においては、地域への委託を図ること。	H28	新規
17	主要道路については拡幅、歩道整備を含め、交通安全対策の充実を図ること。(自転車通学への配慮、ロードミラー、横断歩道、及び信号機の設置)		継続
18	街路樹について間引きも含めてあり方を見直し、安全の確保、環境美化を図ること。	H25	継続
19	JRや神鉄高架下など、犯罪抑止のために防犯カメラの設置を行うこと。		継続
20	三田駅前Cブロックの再開発について、事業化に向けた積極的な支援を行うこと。	H26	継続
21	既存商店街のあり方を見直し、将来に向けた取り組みを図ること。	H28	新規
22	若い勤労者が三田に住みやすい環境を支援すること	H28	新規

上下水道部

番号	内容	提案年度	種別
1	安全・清浄にして豊富・低廉な浄水の供給に努めること。		継続
2	効率的経営により料金の長期安定化を図ること。		継続

市民病院

番号	内容	提案年度	種別
1	県地域医療構想においては、継続的に従来の役割を担えるよう、検査機能の充実と最低でも「急性期病床300床」となるよう、強く働きかけること。	H27	強化
2	来る急激な高齢化を鑑み、健康と命を守る高度で総合的な医療機関として、機能の充実を図ること。		強化
3	医師・看護師の確保を継続的に行い、病院機能の維持向上に努めるとともに、医療スタッフと患者との信頼関係向上に努めること。		継続
4	医療事故の撲滅と医療技術の向上に努めること。		継続
5	時間外勤務の縮小等、医師看護師の就労環境の整備充実に努めること。		継続
6	地域の医療機関と連携し、そのリーダーとして、地域医療の充実を図ること。	H24	継続
7	診療費の未収の縮減に努めること。	H23	継続

教育委員会

番号	内容	提案年度	種別
1	第2期教育振興基本計画に基づき、総合的かつ計画的に教育施策の充実を図ること。	H28	新規
2	通学・通園を含め、学校・園の安全対策に万全を期すこと。また、自転車保険の加入促進に努めること。	H27	強化
3	学校行事、出張、各種研究の精選、人的配置等により、教職員の多忙化解消・心のケアに努め、労働安全衛生法に基づく適切な勤務環境への改善に努めること。		強化
4	「ひまわり特別支援学校」の充実を図るとともに、地域校についても、引き続きバリアフリー化等、施設設備の充実、人的配置について考慮すること。	H26	継続
5	個々の子どもに応じたきめ細かい教育の実現に向け、少人数学級を推進すること。また、学校現場の実情に応じ、教職員の増員を図ること。	H26	継続
6	カウンセリングを必要とする児童・生徒が増加していることから、スクールカウンセラーを増員し、心のケアを充実すること。	H26	継続
7	学校規模・配置の適正化については、保護者・地域の意向にも十分配慮すること。	H27	強化
8	学校給食食材の放射性物質検査を継続すること。	H25	継続
9	学校給食の無償化に向け、検討を進めること。	H28	新規
10	保護者負担の軽減、教育環境の整備を図ること。		継続
11	公立幼稚園の将来構想については、保護者・地域の願いを真摯に受け止めながらも、現場教職員・各種関係機関と十分協議しながら推進すること。	H26	継続
12	子どもの将来に影響を与えるような「ほんもの」に触れ合い、夢と感動を体験できる機会づくりに努めること。	H25	継続
13	「虐待」「いじめ」「不登校」などの防止・早期発見と問題解決に向け、学校だけでなく保護者・地域・警察などと連携を強化すること。	H24	継続
14	子どもの貧困実態を調査し、状況に応じた支援策を講じること。	H28	新規

消防本部

番号	内容	提案年度	種別
1	消防職員の計画的な採用に努め、実質定数を満たすよう努力すること。		強化
2	自主防災組織の結成やその育成に努力してほしい。		継続
3	消防団の災害時対応については、何よりも団員の安全に十分配慮すること。		継続
4	中高層建築物火災時に出勤可能な要員の確保と急増する救急業務、並びに大規模災害時に対応できる出勤体制の増強を図られたい。		継続
5	女性の救急救命士の配置を進めること。	H28	新規